

事例 8

環境活動

～ 花と緑にあふれ、ホタルの舞う中堀川プロムナードをめざして ～

【旭区 新あさひみらい塾（地区型※）】

【事例】「中堀川いこいの場づくり」（平成 30 年 4 月開始）

団体紹介

- ・団体名：旭北地区連合自治会
- ・活動者の受講年度：平成 29 年度（第 4 期生）
- ・メンバー数：39 人（令和 3 年 3 月末現在）
- ・活動実績：令和元年度は、月 2 回、延べ 125 人が清掃活動に参加
植栽活動（年 6 回）には、延べ 40 人が参加

プロムナードギャラリーには、170 枚の児童の絵が飾られた。

ホタルの生育を目指す取組（年 6 回）には、45 人が参加

- ・活用制度：旭区きらっとあさひ地域支援補助金
あさひコーディネーター派遣事業
区づくり推進費「水・緑・花を暮らしに取り入れた
旭区魅力アップ事業」の中の「ホタルの舞う里づくり」
の専門家派遣



プロムナード沿いのフェンスに地元小学校児童絵画の掲示作業を会員皆で実施



ゲンジボタルの幼虫をプロムナードせせらぎに放流（この後、ホタルはサナギになるため上陸し、羽化します。）

活動内容

旭北地区連合自治会（会長 渋谷八郎さん）は、平成 29 年に都市緑化フェアが開催されたことを契機に、「鶴ヶ峰駅方面から里山ガーデンへの通り道である白根通りや中堀川プロムナードの魅力を向上させたい」と考え、「新あさひみらい塾」に参加しました。同じ取組を進めている「旭北地区連合自治会まちぐるみ福祉推進会議第 3 部会（旭北地区の地域福祉保健計画にもとづく組織）」や「中堀川プロムナード水辺愛護会」と連携し、流域の上白根町内会も加わり、中堀川の美化やホタルの復活について 7 回にわたって話し合いや学習を行い、その話し合いの結果を「中堀川いこいの場づくり」として実施計画を立て、平成 30 年から活動を始めました。

中堀川プロムナードを魅力ある、地域のいこいの場とするために、清掃活動や花植えを行い、プロムナードに小学生の絵を飾っています。また、令和元年からプロムナード沿いのせせらぎにホタルを復活させる活動も開始しています。周辺の自治会町内会を始め、小学校や水辺愛護会など、中堀川プロムナードに関わる人たちと連携協力し、水辺環境の整備だけにとどまらない、交流の場づくりに取り組んでおり、子どもから高齢者まで地域の方に環境活動の大切さを、楽しく自然な形で広めています。こうした活動が評価され、令和 3 年、第 28 回横浜環境活動賞を受賞しました。

※区域全域を対象とした講座形式ではなく、地区連合町内会等の特定のエリアを対象に、その地区の課題解決に向けた話し合いや学習を通じて、連携する団体や参加者を広げ、担い手の育成につなげています。